

## 事前評価調書

I 事業概要																																																					
事業名	交通安全対策事業（歩道及び自転車歩行者道設置事業）																																																				
地区名	主要地方道 <small>とよはししもよしだ</small> 豊橋下吉田線																																																				
事業箇所	<small>しんしろしとみおか</small> 新城市富岡地内																																																				
事業のあらまし	<p>本路線は<small>とよはし</small>豊橋市と<small>しんしろ</small>新城市を結ぶ重要な路線である。近くに東名高速道路のスマートインターが開設される予定であり、大型車を始めとした交通量の増加が予想される。</p> <p>当該区間は通学路として利用されているが、歩道が無く、歩行者等が危険にさらされている状況である。このような状況を解消するために当該区間に歩道を設置し、歩行者の安全を確保する。</p>																																																				
事業目標	<p><b>【達成（主要）目標】</b></p> <p>① 危険通学路の解消 ② 歩行者等の安全確保</p> <p><b>【副次目標】</b>（必要に応じて記載する）</p> <p>—</p>																																																				
事業費	事業費		内訳																																																		
	4.3 億円		■工事費 3.6 億円、■用補費 0.3 億円、■その他 0.4 億円																																																		
事業期間	採択予定年度	2026 年度	着工予定年度	2029 年度	完成予定年度	2032 年度																																															
事業内容	・歩道設置 L=910m W=11.0m																																																				
II 評価																																																					
①事業の必要性	1) 必要性	当該区間は通学路に指定されているが歩道が無く、歩行者が危険な状況にさらされているため、早期の整備が必要である。																																																			
	判定	<b>A</b>	A： 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B： 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。																																																		
		<b>【理由】</b>	通学路であり、歩行者の安全確保が必要であるため。																																																		
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #add8e6;"> <th colspan="2" style="width: 10%;"></th> <th style="width: 5%;">2026</th> <th style="width: 5%;">2027</th> <th style="width: 5%;">2028</th> <th style="width: 5%;">2029</th> <th style="width: 5%;">2030</th> <th style="width: 5%;">2031</th> <th style="width: 5%;">2032</th> <th style="width: 5%;">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">工事区分</td> <td>調査設計</td> <td colspan="3">←————→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td></td> <td colspan="3">←————→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="3">←————→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr style="background-color: #add8e6;"> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="3">1.9</td> <td colspan="3">2.4</td> <td>4.3</td> </tr> </tbody> </table>							2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	合計	工事区分	調査設計	←————→								用地補償			←————→						工事				←————→					事業費（億円）		1.9			2.4			4.3
			2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	合計																																											
	工事区分	調査設計	←————→																																																		
		用地補償			←————→																																																
工事					←————→																																																
事業費（億円）		1.9			2.4			4.3																																													
2) 地元の合意形成	地域の要望を受けて事業を開始しており、地元の合意形成は図られている。																																																				
判定	<b>A</b>	A： 事業計画の実効性が期待できる。 B： 事業計画の実効性が期待できない。																																																			

		<b>【理由】</b> 事業執行環境が整っており、事業の実効性が期待できるため。
<b>Ⅲ 対応方針</b>		
事業実施が 妥当である	事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。	
<b>Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容</b>		
■対象（事業完了後5年目）    □対象外 <b>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</b>  <b>【主な評価内容】</b> 通学路の安全確保状況 歩行者等の安全確保		